

参考資料

# 最近の繊維産業の動向

2015年 4月

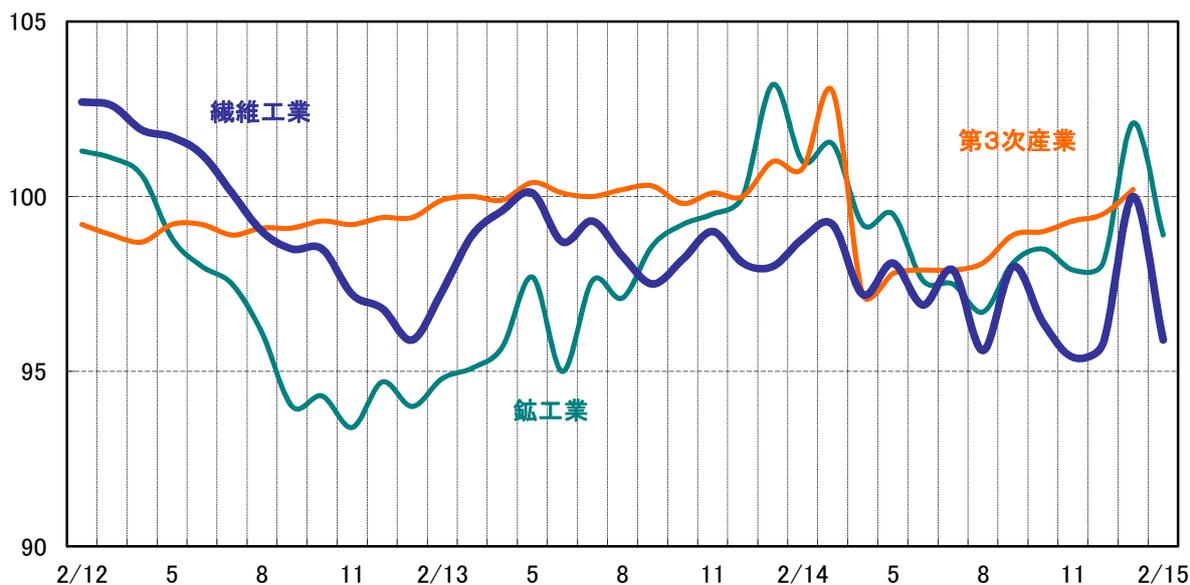
日本化学繊維協会

## 図-1 日本の繊維産業

### 鉱工業・繊維工業生産・第3次産業活動

◎2月の鉱工業生産指数(確報)は前月比3.1%低下の98.9と、3か月ぶりに低下した。1月の高い伸びに対する反動減の側面もあり経産省は基調判断を「緩やかな持ち直しの動き」と据え置いた。繊維工業も4.1%低下の95.9と3ヶ月ぶりの低下。第3次産業活動指数は0.3%上昇の100.5と10か月連続で上昇した。

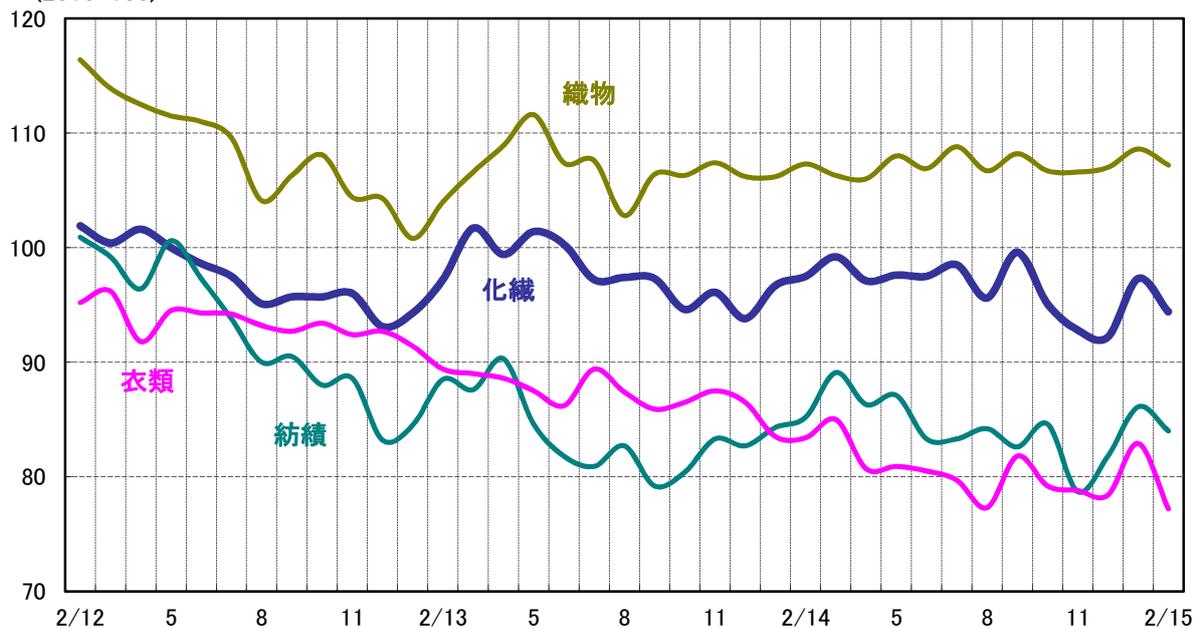
(2010=100、第3次産業は2005=100)



### 繊維加工段階別生産

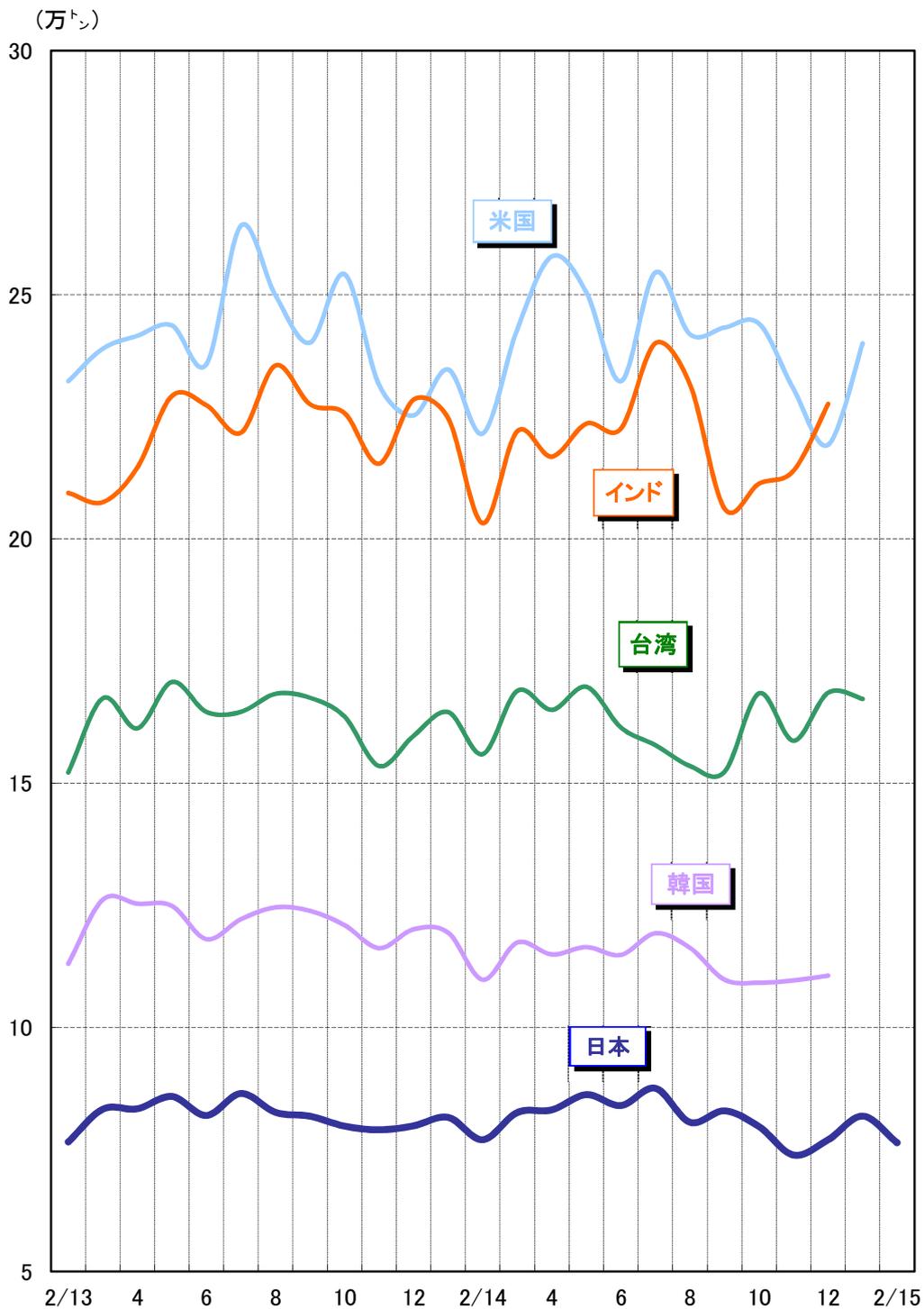
◎2月は化繊、紡績、織物、衣類いずれも低下した。

(2010=100)



(出所) 経済産業省 (注) 季節調整済み

図-2. 主要国の化繊生産



(出所) 各国統計(オレフィンを含む)

(注) 米国はセルロースを含まない。

中国の生産はp5を参照。

インドは一部推定を含む。

表－１．主要国の化繊生産増減率

(%、前年同月比)

	日本	米国	韓国	台湾	インド
2013年2月	▲ 4	▲ 2	▲ 5	▲ 9	▲ 8
3月	▲ 0	▲ 3	▲ 3	▲ 6	▲ 12
4月	▲ 1	1	1	▲ 8	▲ 7
5月	▲ 0	3	▲ 2	▲ 2	▲ 4
6月	▲ 0	5	▲ 2	9	1
7月	5	16	1	6	▲ 5
8月	3	11	▲ 0	8	▲ 3
9月	5	6	1	10	▲ 2
10月	▲ 2	5	▲ 3	▲ 0	▲ 4
11月	3	6	1	▲ 3	▲ 3
12月	0	11	4	1	3
2014年1月	3	▲ 0	▲ 3	▲ 4	▲ 2
2月	1	▲ 5	▲ 3	2	▲ 3
3月	▲ 1	2	▲ 7	1	7
4月	▲ 0	7	▲ 8	2	1
5月	0	3	▲ 7	▲ 1	▲ 2
6月	2	▲ 1	▲ 3	▲ 2	▲ 2
7月	1	▲ 4	▲ 2	▲ 4	8
8月	▲ 2	▲ 3	▲ 7	▲ 9	▲ 2
9月	1	1	▲ 11	▲ 9	▲ 9
10月	▲ 0	▲ 4	▲ 10	3	▲ 6
11月	▲ 7	▲ 0	▲ 6	3	▲ 1
12月	▲ 4	▲ 3	▲ 8	6	▲ 0
2015年1月	0	2	…	2	…
2月	▲ 1	…	…	…	…

(出所)各国統計 (注) 米国はセロースを含まない。

- 日本：2月は主要4品種がいずれも減少した一方、ポリプロピレンが増加した。
- 米国：ポリエステルFはカーペット用が依然堅調。
- 韓国：2014年は年間を通じて前年割れ。ナイロンF、ポリエステルFが不振。
- 台湾：1月は4ヶ月連続で前年比増。
- インド：12月は5か月連続のマイナス。ナイロンF以外の主要品種はいずれも減少基調。
- 中国：大きなデータ修正があり月別データは不明。p5を参照。  
(日本、韓国、台湾、インドの品種別は次ページを参照)

表－２． 日本、韓国、台湾、インドの主要合繊生産増減率

(%、前年同月比)

	ポリエステルF				ポリエステルS			
	日本	韓国	台湾	インド	日本	韓国	台湾	インド
2013年 2月	▲ 11	▲ 8	▲ 15	▲ 17	▲ 14	6	1	4
3月	▲ 7	▲ 6	▲ 8	▲ 25	▲ 3	7	▲ 8	3
4月	▲ 6	▲ 4	▲ 11	▲ 9	▲ 0	7	▲ 6	▲ 6
5月	▲ 8	▲ 2	1	▲ 6	▲ 3	▲ 4	▲ 12	▲ 4
6月	▲ 8	▲ 1	9	▲ 3	0	▲ 11	3	6
7月	▲ 11	▲ 4	7	▲ 14	▲ 6	3	1	▲ 1
8月	▲ 5	▲ 1	15	▲ 12	▲ 5	▲ 1	▲ 3	4
9月	▲ 10	▲ 2	23	▲ 8	3	3	▲ 0	2
10月	▲ 12	1	▲ 0	▲ 9	▲ 17	▲ 12	▲ 2	▲ 2
11月	▲ 13	▲ 2	▲ 9	▲ 6	▲ 8	1	▲ 7	▲ 3
12月	▲ 8	4	3	▲ 1	3	3	▲ 9	5
2014年 1月	▲ 12	▲ 5	2	▲ 4	17	2	▲ 14	▲ 5
2月	▲ 11	▲ 7	6	▲ 4	12	2	0	▲ 3
3月	▲ 13	▲ 11	0	9	1	▲ 2	6	5
4月	▲ 21	▲ 12	▲ 0	▲ 8	4	▲ 2	6	7
5月	▲ 14	▲ 10	▲ 6	▲ 8	2	1	2	0
6月	▲ 13	▲ 10	▲ 3	▲ 3	1	12	▲ 3	▲ 1
7月	▲ 9	▲ 9	▲ 7	▲ 9	3	12	▲ 4	13
8月	▲ 11	▲ 15	▲ 14	▲ 2	2	5	▲ 5	▲ 0
9月	▲ 7	▲ 16	▲ 12	▲ 17	▲ 4	▲ 6	▲ 7	▲ 5
10月	▲ 10	▲ 17	9	▲ 13	8	0	▲ 2	▲ 1
11月	4	▲ 11	15	▲ 3	▲ 2	4	▲ 5	3
12月	▲ 2	▲ 12	8	▲ 6	▲ 10	▲ 4	8	6
2015年 1月	▲ 1	…	▲ 2	…	▲ 5	…	12	…
2月	▲ 7	…	…	…	▲ 5	…	…	…

	ナイロンF				アクリルS			
	日本	韓国	台湾	インド	日本	韓国	台湾	インド
2013年 2月	▲ 5	▲ 18	▲ 7	▲ 2	1	▲ 36	▲ 45	▲ 27
3月	▲ 6	▲ 9	▲ 5	2	▲ 5	▲ 28	▲ 8	▲ 26
4月	▲ 4	▲ 1	▲ 9	▲ 1	0	15	▲ 33	63
5月	2	2	▲ 10	▲ 1	20	23	52	37
6月	▲ 4	7	10	0	23	57	34	26
7月	▲ 3	4	10	4	21	52	6	22
8月	▲ 7	3	▲ 0	0	11	21	43	30
9月	3	3	▲ 2	▲ 6	9	18	3	50
10月	▲ 1	4	▲ 3	▲ 4	1	18	12	32
11月	▲ 8	▲ 4	▲ 2	6	6	56	125	30
12月	▲ 6	▲ 5	6	2	▲ 10	49	▲ 7	27
2014年 1月	▲ 2	▲ 7	▲ 2	29	2	▲ 13	▲ 43	9
2月	3	▲ 6	▲ 3	9	▲ 12	22	▲ 14	26
3月	5	▲ 11	0	11	▲ 11	10	▲ 23	22
4月	3	▲ 13	3	10	2	▲ 15	24	3
5月	▲ 1	▲ 12	16	14	▲ 6	▲ 23	▲ 13	▲ 12
6月	8	▲ 14	▲ 3	6	▲ 9	▲ 7	13	3
7月	0	▲ 16	▲ 4	7	7	▲ 7	12	▲ 17
8月	1	▲ 13	▲ 2	8	4	▲ 1	▲ 25	5
9月	1	▲ 10	▲ 9	14	2	▲ 9	▲ 12	▲ 9
10月	6	▲ 12	▲ 7	10	▲ 1	4	9	▲ 3
11月	5	▲ 6	▲ 10	13	▲ 23	▲ 24	▲ 7	▲ 1
12月	8	▲ 2	▲ 3	26	▲ 8	▲ 12	▲ 4	▲ 2
2015年 1月	▲ 3	…	▲ 10	…	▲ 1	…	45	…
2月	▲ 5	…	…	…	▲ 12	…	…	…

(出所) 各国統計

表－3. 中国の化学繊維品種別生産推移

(万ト、%)

	化学繊維計				
	セルロース計	レーヨンS	レーヨンF	アセテートF	
2012年	3,856	327	255	30	32
2013年	4,161	383	308	27	...
2014年	4,390	372	310	24	...
2015年1月	...	...	30.0		...
2月	690	...	23.0		...
3月					
4月					
5月					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
2015年累計	...	...	...		...
前年同期比 (%)	...	...	2.2		...

	化学繊維計						
	合繊維計	ポリエステル	ナイロン	アクリル	ビニロン	ポリプロピレン	ポリウレタン
2012年	3,535	3,140	209.1	69.1	8.7	28	35
2013年	3,783	3,349	235.2	69.4	10.1	27	45
2014年	4,017	3,566	259.2	67.6	11.1	27	49
2015年1月	...	265.0	21.0	6.8	1.0	2.1	3.9
2月	...	203.2	16.1	5.2	0.8	1.6	3.0
3月							
4月							
5月							
6月							
7月							
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							
2015年累計	...	...	...	...	...	...	...
前年同期比 (%)	...	6.9	11.8	▲ 2.5	9.8	▲ 0.6	...

(出所) 中国紡織工業連合会 (国家統計局)

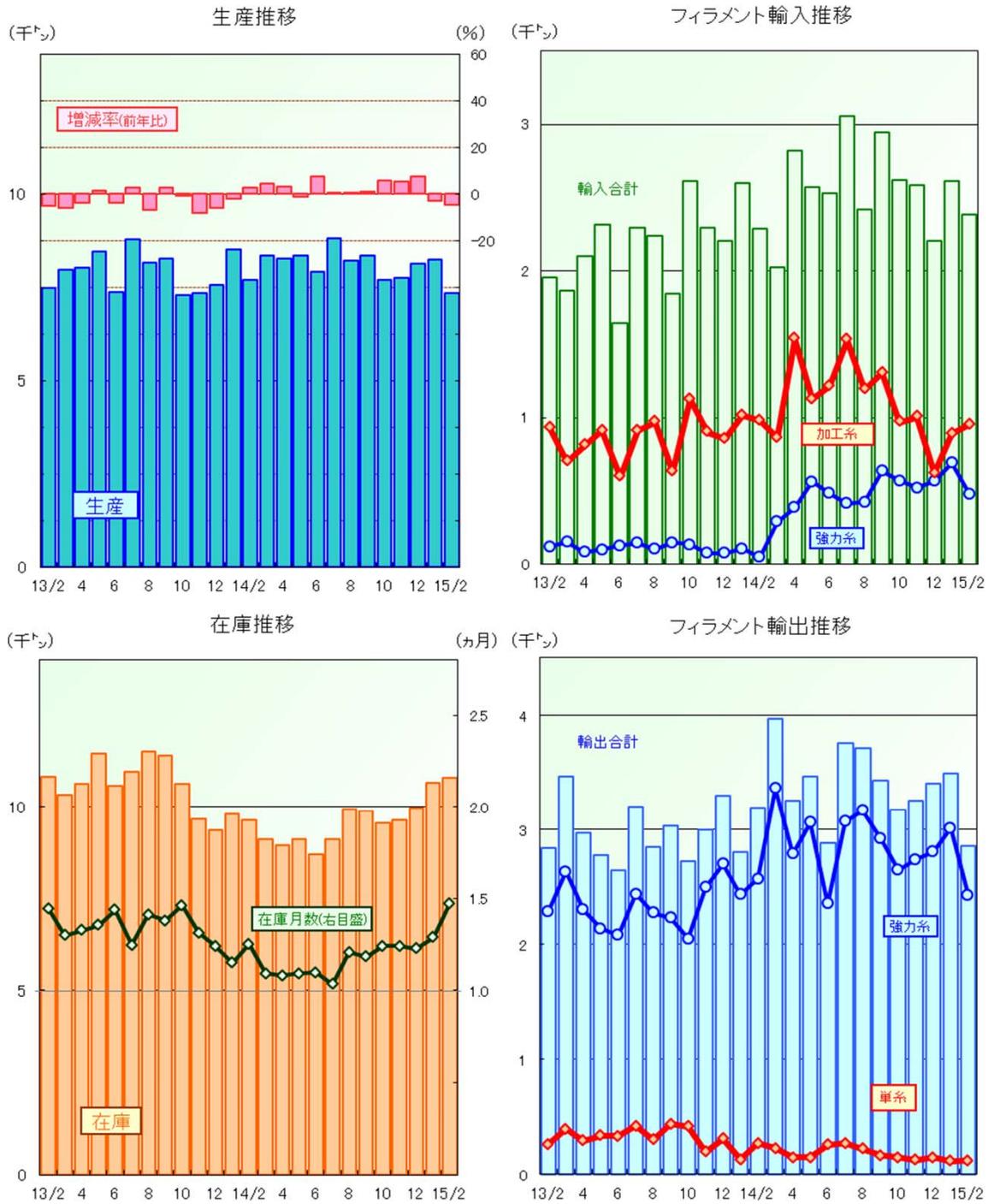
(注) 日本化学繊維協会の推定を含む。

【2015年1～2月】

- 2月の化学繊維生産は690万ト。累計および前年同期比は未発表。
- 全体の8割を占めるポリエステルが6.9%増。
- ナイロンが11.8%増と大幅増が継続。アクリルSは2.5%減。
- レーヨン (F+S) は2.2%増。

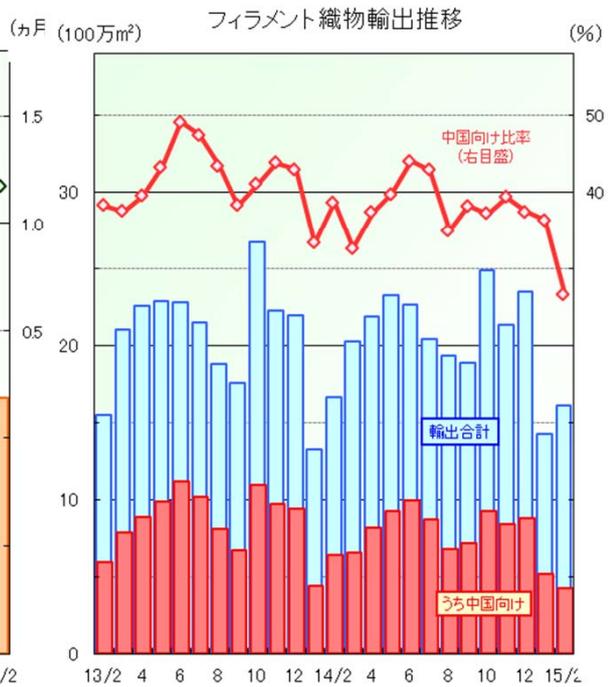
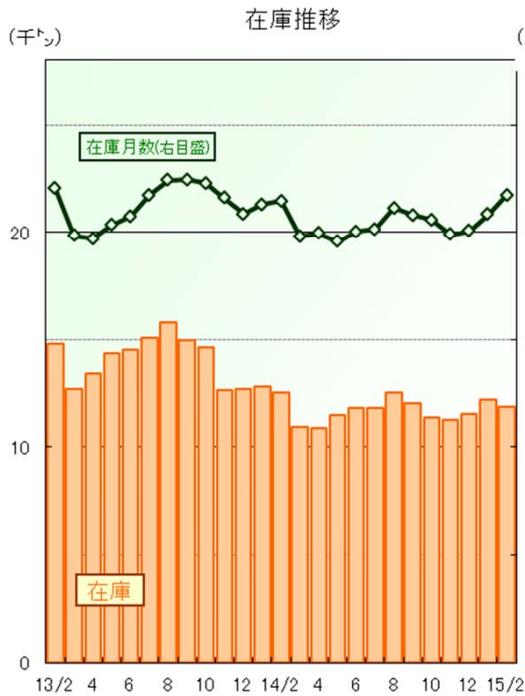
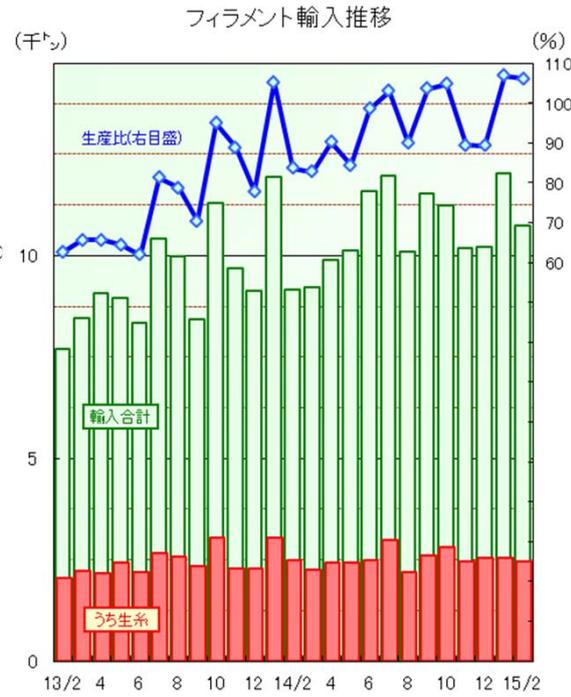
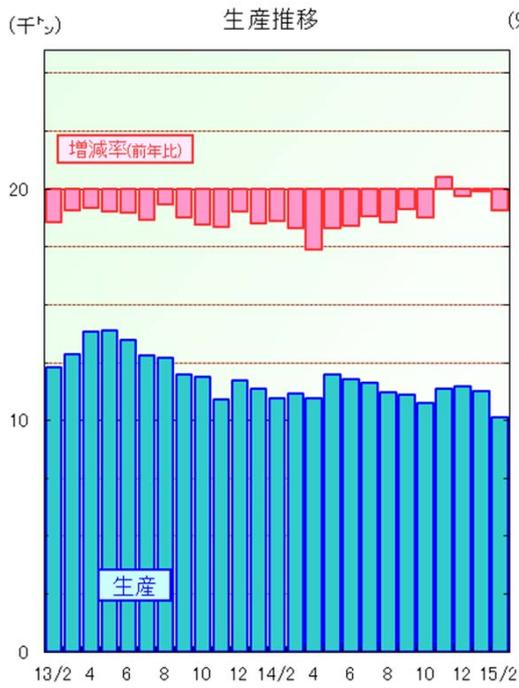
図－３．日本の化繊生産・在庫・貿易

ナイロンF

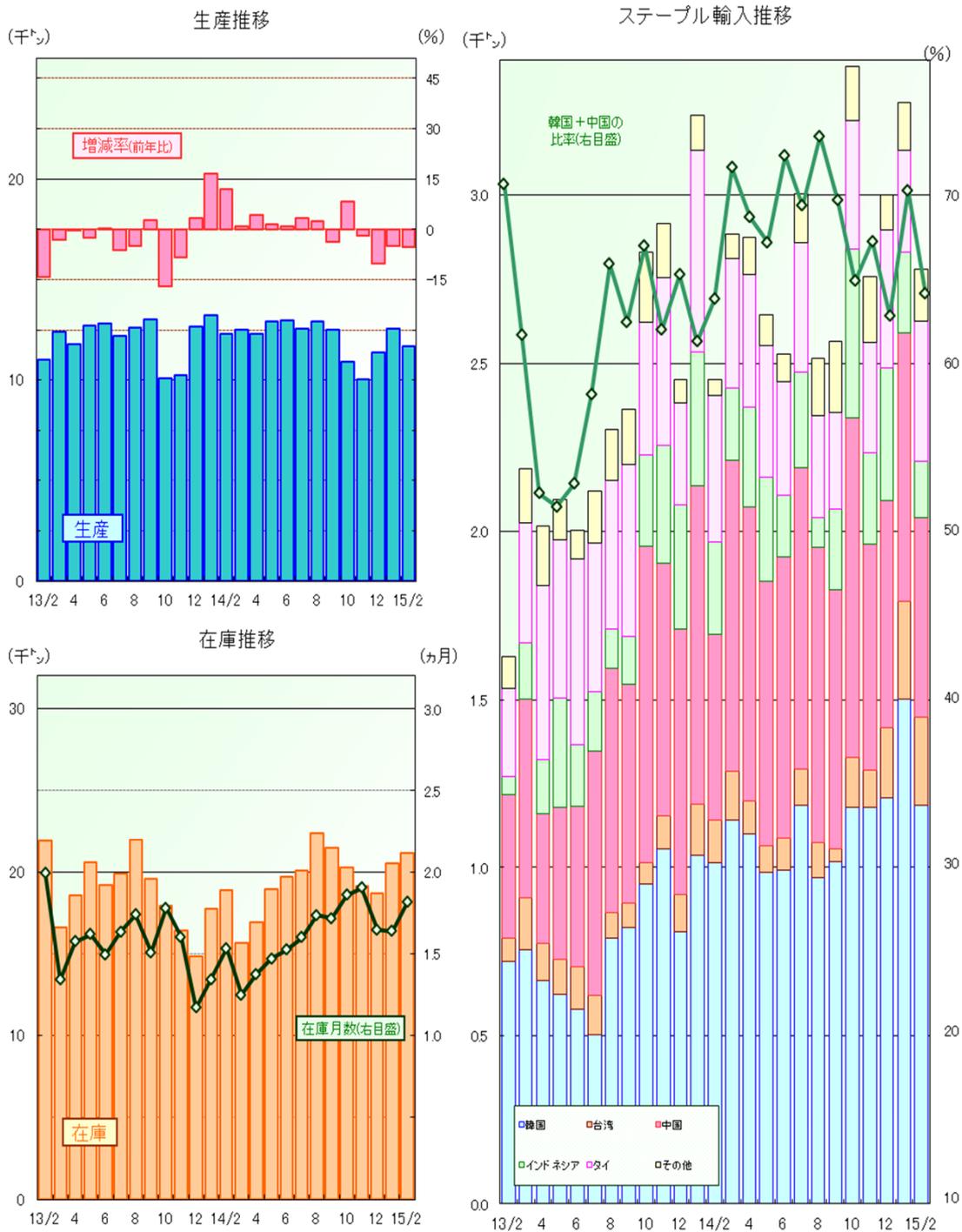


(出所) 日本化学繊維協会、経済産業省、財務省。以下アクリルSまで同様。

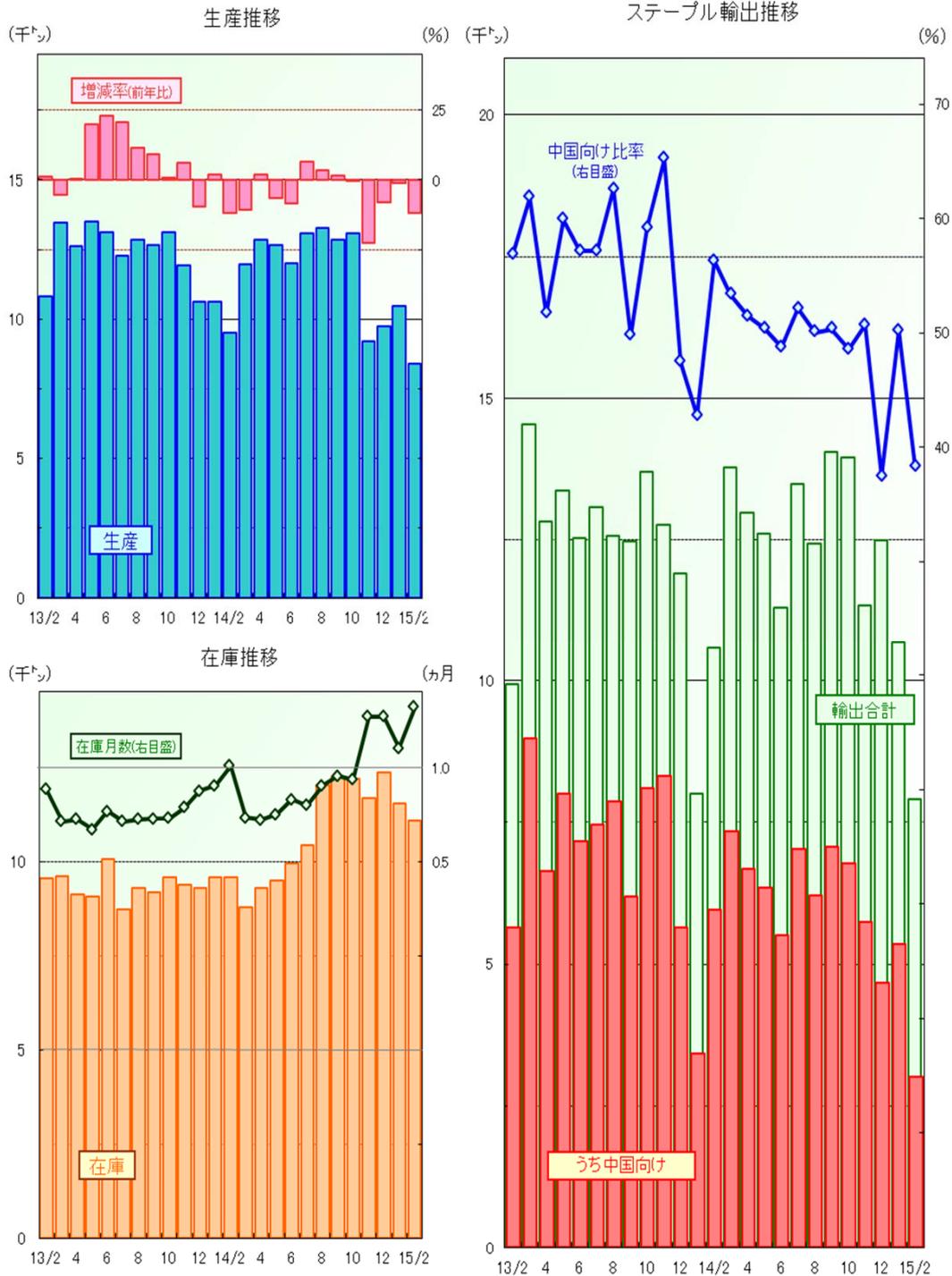
# ポリエステルF



# ポリエステルS



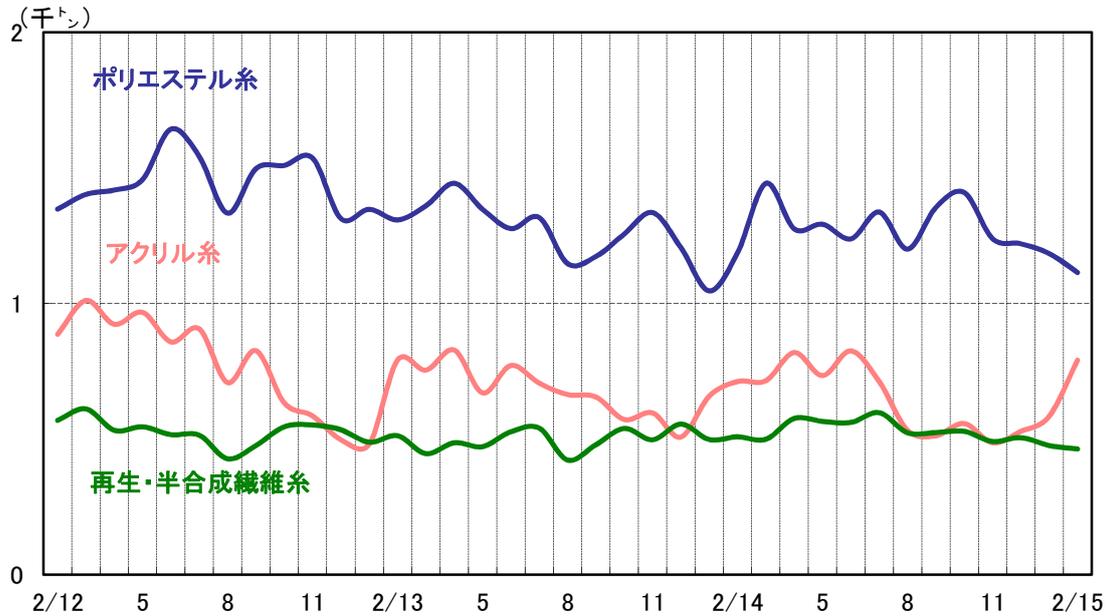
# アクリルス



図－４． 主要紡績糸生産・長繊維織物染色加工高

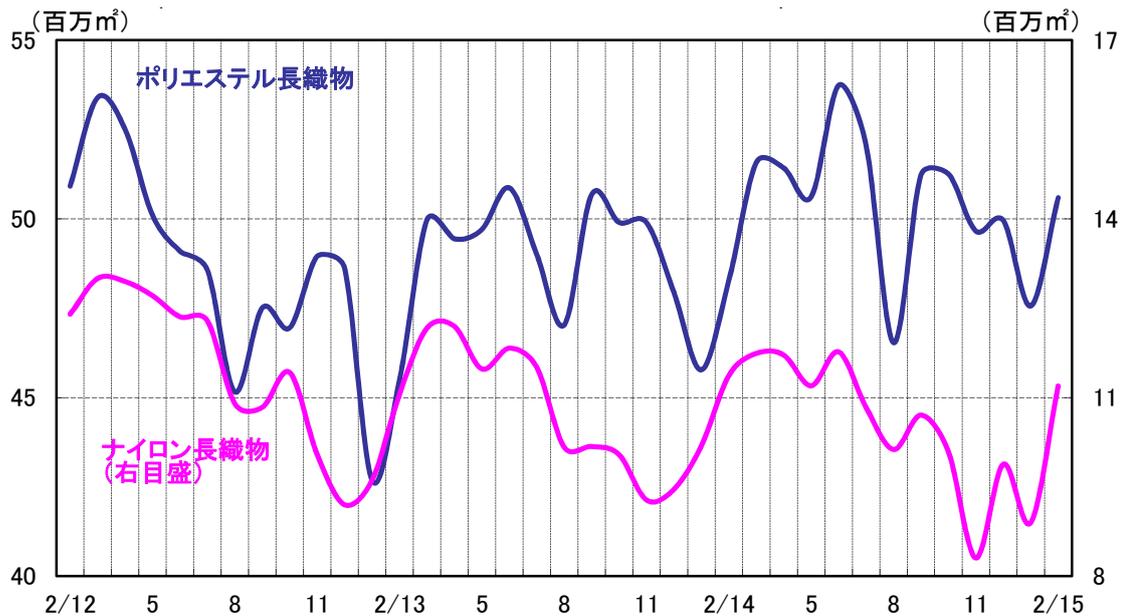
紡績糸生産

◎2月は再生・半合成繊維糸が5ヶ月連続のマイナス。



長繊維織物染色加工高

◎2月はEf織物が2ヶ月連続で増加。国内用、輸出用共に好調。

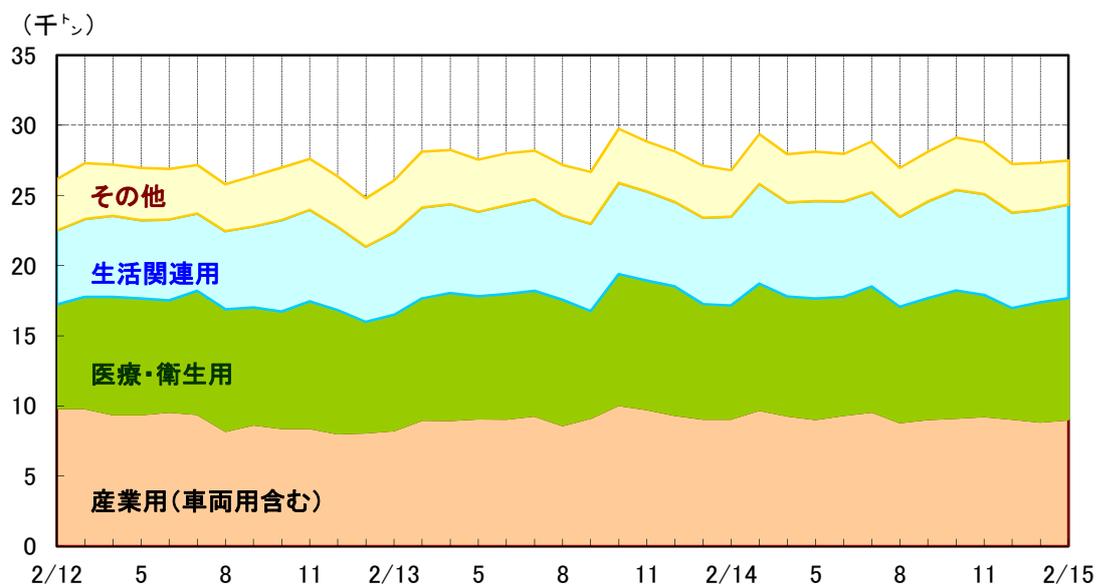


(出所) 経済産業省

## 図－５． 不織布・炭素繊維生産高

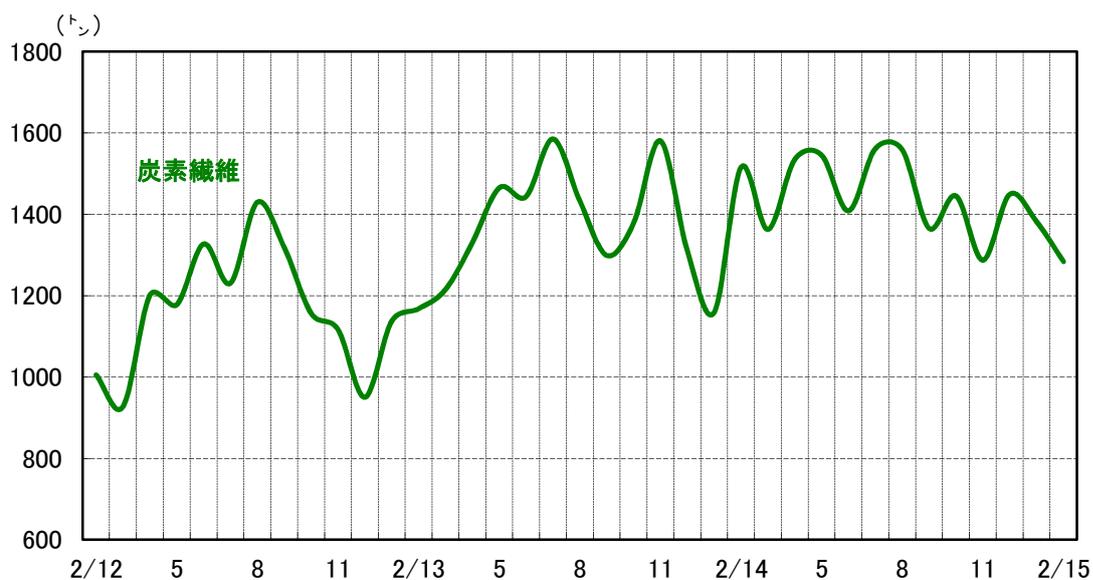
### 不織布生産

◎2月は生活関連用が15ヶ月連続で前年同月比増加。



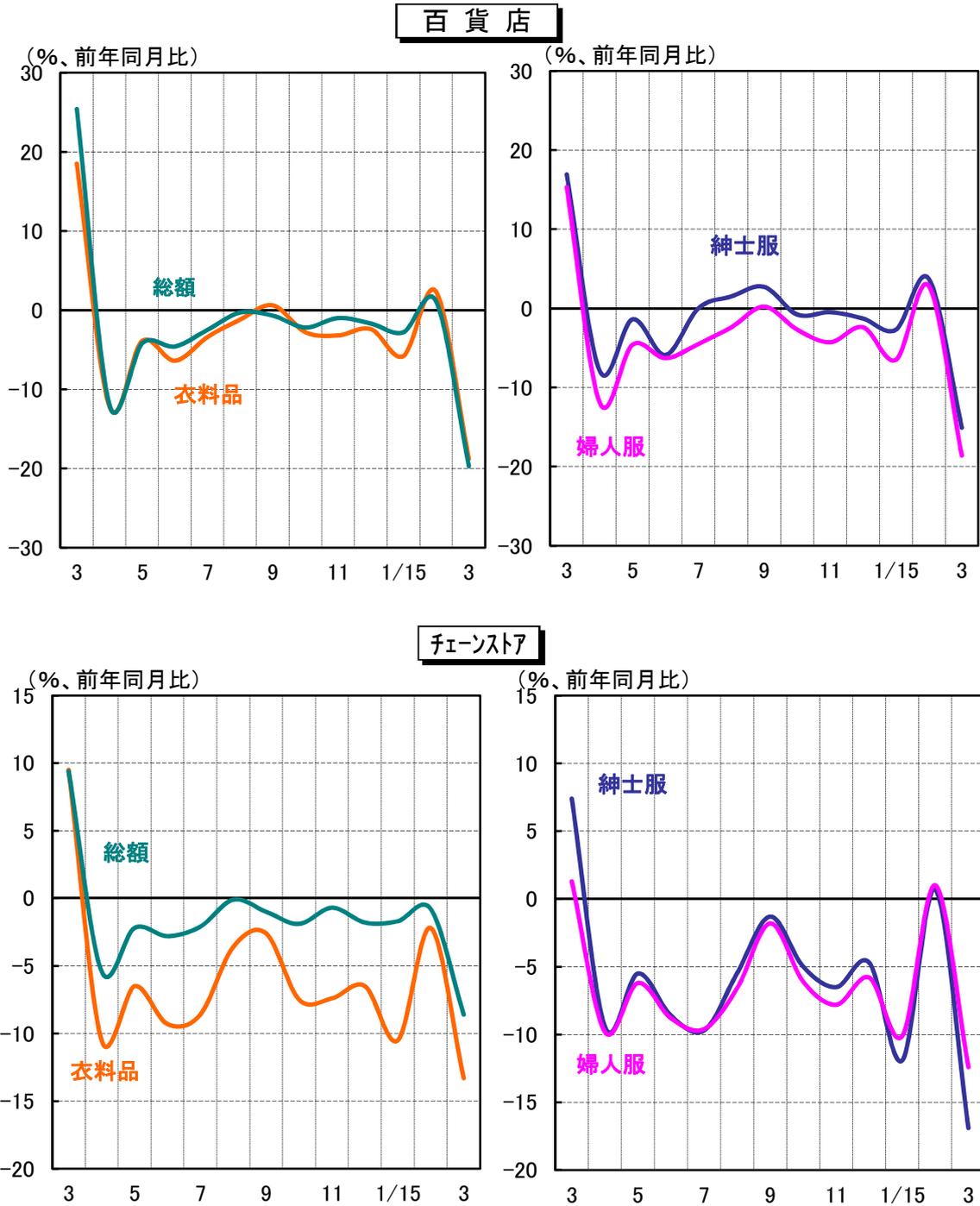
### 炭素繊維生産

◎2月は前年同月比15.3%減と3ヶ月ぶりのマイナス。



(出所) 経済産業省

図－6. 衣料小売額増減率（名目）



(出所) 日本百貨店協会、日本チェーンストア協会 (注) 店舗調整後

【総売上高】3月は昨年の消費税引き上げ前の駆け込み需要の反動に加え、休日が前年比2日減少したことから百貨店が前年同月比19.7%減と大幅に減少、チェーンストアも8.6%減と減少した。  
 【衣料品売上高】紳士服、婦人服いずれも大幅に減少、百貨店が18.8%減、チェーンストアは13.3%減。

表－４． 繊維品貿易額（ドルベース）

	輸出		輸入		バランス	為替レート (円/ドル)
	100万ドル	前年比(%)	100万ドル	前年比(%)	100万ドル	
2009年 計	7,651	-16.1	32,375	-2.6	-24,724	93.5
2010年 計	8,943	30.4	34,391	15.6	-25,448	87.8
2011年 計	10,186	13.9	42,696	24.1	-32,510	79.8
2012年 計	9,887	-2.9	43,267	1.3	-33,380	79.8
3月	811	-7.5	3,312	-10.8	-2,501	94.8
4月	758	-8.7	3,726	4.4	-2,968	97.7
5月	743	-10.4	3,057	-4.9	-2,314	101.1
6月	795	-13.1	2,866	0.9	-2,071	97.4
7月	753	-11.2	3,557	2.6	-2,804	99.7
8月	744	-6.1	4,204	-1.9	-3,460	97.9
9月	692	-14.3	4,440	-1.1	-3,748	99.2
10月	789	-5.5	4,440	2.3	-3,650	97.9
11月	767	-4.0	3,472	-1.8	-2,705	100.0
12月	774	-8.9	3,174	-4.2	-2,400	103.5
2013年 計	8,884	-10.1	42,632	-1.5	-33,747	97.6
2014年 1月	542	-9.6	3,889	10.6	-3,347	103.9
2月	718	9.1	2,455	-14.4	-1,737	102.1
3月	758	-6.5	3,422	3.3	-2,664	102.3
4月	757	-0.2	3,455	-7.3	-2,698	102.6
5月	786	5.7	2,828	-7.5	-2,042	101.8
6月	763	-4.1	2,811	-1.9	-2,049	102.1
7月	801	6.3	3,394	-4.6	-2,593	101.7
8月	726	-2.4	3,719	-11.6	-2,993	103.0
9月	697	0.7	4,322	-2.7	-3,625	107.1
10月	791	0.2	4,023	-9.4	-3,232	108.1
11月	670	-12.6	2,938	-15.4	-2,268	116.2
12月	768	-0.8	3,029	-4.6	-2,260	119.4
2014年 計	8,776	8.2	40,285	2.1	-31,509	105.8
2015年 1月	610	12.6	3,275	-15.8	-2,665	118.2
2月	587	-18.3	3,288	33.9	-2,701	118.6
2015年 計	1,197	-5.0	6,563	3.4	-5,366	118.4

(出所) 財務省。以下表-6まで同様。

- 2015年1～2月の繊維品貿易は、ドルベースで輸出が5.0%減の11億9,650万ドルと減少、輸入が3.4%増の65億6,265万ドル。
- 同期の繊維品貿易赤字は53億6,615万ドル、赤字幅は前年同期比5.5%拡大した。

表－５． 化繊主要品目の輸出実績

	単位	2014年1～2月	2015年1～2月	前年同期比(%)
合繊ステーブル	千トン	30.3	29.6	▲ 2.1
ポリエステル	〃	5.0	4.1	▲17.1
アクリル	〃	18.6	18.6	0.1
合繊フィラメント	〃	15.2	15.8	3.9
ポリエステル	〃	3.0	2.3	▲24.3
ナイロン	〃	6.0	6.3	5.7
合繊紡績糸	〃	0.6	0.4	▲23.8
アクリル	〃	0.2	0.2	▲33.9
合繊長繊維織物	百万平米	51.8	52.9	2.1
ポリエステル	〃	29.9	30.3	1.4
ナイロン	〃	14.9	15.1	1.5
合繊短繊維織物	〃	22.0	22.2	0.9
ポリエステル	〃	21.0	21.7	3.1
レーヨンステーブル	千トン	1.5	1.6	11.4
化繊不織布	百万平米	92.0	94.2	2.4
化 繊 合 計	千トン	93.8	92.4	▲ 1.5

(注) 化繊合計は、ファイバー、糸、織物、二次製品、くずの計

【1～2月】

- ・ポリエステルSは17.1%減の0.4万ト。中国が9.8%減、インドネシアが70.7%減と大幅に減少した。
- ・アクリルSは0.1%増の1.9万ト。最大仕向地の中国が10.5%減だが、かつら用が好調なアフリカが13.4%増と2桁増。
- ・ポリエステルFは24.3%減の0.2万ト、アジア、欧米の主要仕向地が軒並み減少。
- ・ナイロンFはタイなど主要仕向地が総じて増加し、全体で5.7%増の0.6万ト。
- ・ポリエステルF織物は1.4%増の3,032万㎡。中国は12.9%減と減少したが、ベトナムが28.0%増と大幅に増加した。ナイロンF織物は1.5%増の1,513万㎡。ASEANが増加。
- ・ポリエステルS織物は3.1%増の2,168万㎡。中東向けが7.7%増と回復。
- ・レーヨンスは11.4%増の0.2万ト。中国が72.9%増、米国が8.4%減。
- ・化繊不織布は2.4%増の9,418万㎡。中国が1.9%増のほか、米国が10.2%増。
- ・化繊合計は糸・わたの不調で前年比1.5%減の9.2万ト。

表一六． 化繊主要品目の輸入実績

	単位	2014年1～2月	2015年1～2月	前年同期比(%)
合繊ステープル	千トン	8.0	8.2	2.9
ポリエステル	〃	5.7	6.1	6.4
セルロースS	〃	2.7	2.4	▲12.0
合繊フィラメント	〃	28.5	30.2	6.3
ポリエステル	〃	21.1	22.8	8.0
ナイロン	〃	4.9	5.0	2.3
合繊紡績糸	〃	5.2	4.9	▲5.2
アクリル	〃	1.1	0.8	▲22.9
ポリエステル	〃	3.6	3.6	▲0.6
セルロース紡績糸	〃	1.7	1.7	▲1.0
合繊長繊維織物	百万平米	59.9	66.3	10.6
ポリエステル	〃	31.8	36.6	15.0
合繊短繊維織物	〃	30.5	34.2	12.3
ポリエステル綿混	〃	15.6	16.0	2.3
化繊二次製品	千トン	157.1	170.8	8.7
化繊不織布	百万平米	1,208.2	1,324.7	9.6
合繊製セーター	100万着	37.9	44.0	15.9
化 繊 合 計	千トン	223.7	241.4	7.9
[綿 糸]	千トン	11.8	10.9	▲7.7
[綿織物]	百万平米	50.9	48.9	▲4.0

(注) 化繊合計は、ファイバー、糸、織物、二次製品、くずの計

〈参考〉 地域別の衣料品輸入 (速報)  
(10億円、%)

【1～2月】

- ・ポリエステルSは6.4%増。韓国が31.3%増加した。
- ・ポリエステルFは8.0%増。最大仕出国の台湾が6.2%増。
- ・ポリエステルF織物は15.0%増の3,660万㎡。
- ・化繊不織布は9.6%増の13.2億㎡。
- ・化繊合計は7.9%増の24.1万トン。円安にもかかわらず増加した。

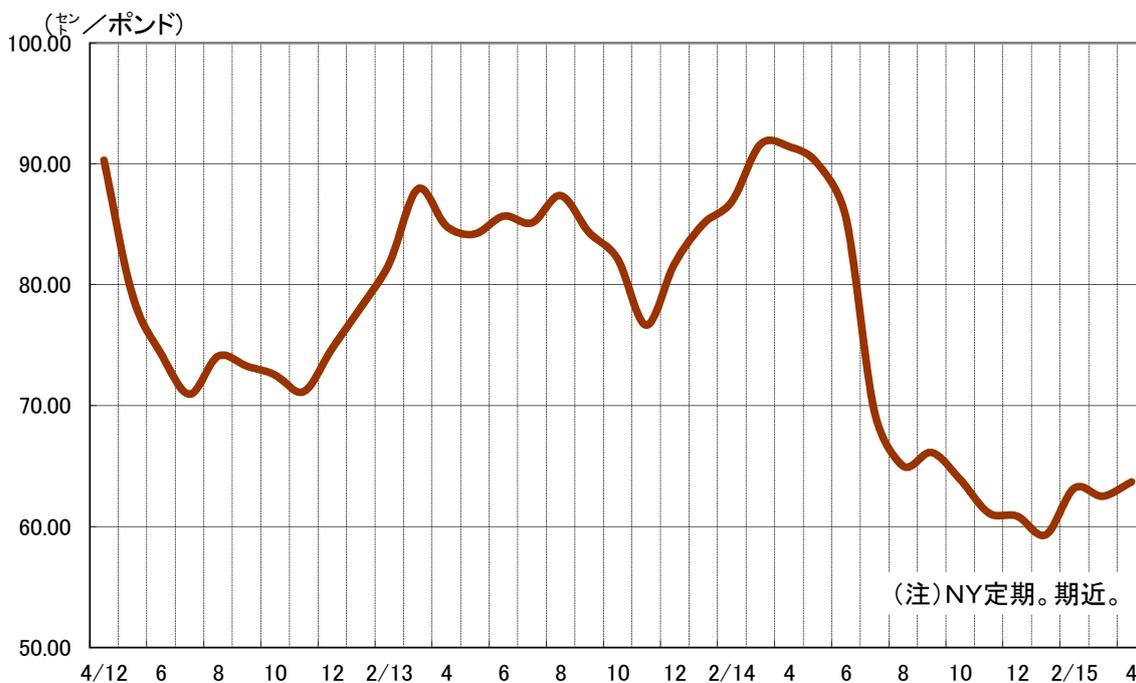
	2015年2月	前年同月比
米国	2.0	2.7
EU	13.9	▲5.3
アジア	285.8	68.2
中国	209.5	80.3
NIES	1.7	▲1.2
ASEAN	61.5	44.2
世 界	305.2	60.6

(出所) 財務省

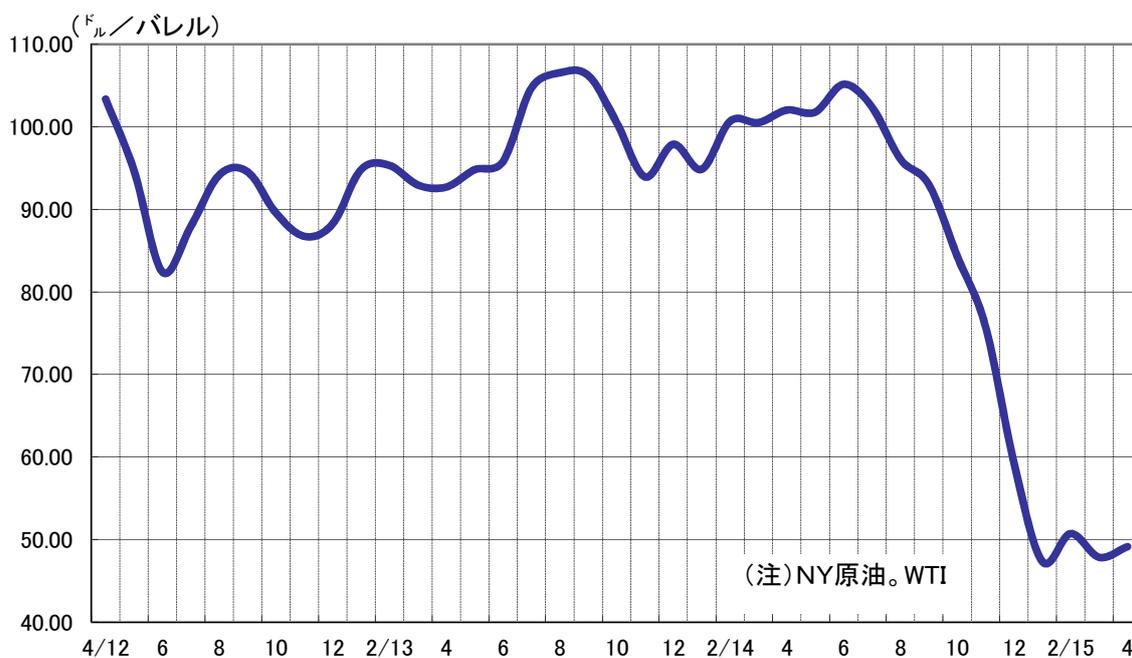
(注) シンガポールはNIES、ASEANの双方に含まれる。

## <参考> 綿花・原油価格の推移

### 綿花



### 原油



(出所)日本経済新聞